

J S 労の要求実現！！

要員確保、やれば出来るやんけ！

新大阪第二事業所の営業二科では、定年退職や離職に伴う要員を補充せず恒常的な要員不足の状況となっています。それにより、マネージャーがスタッフの業務を行う下位職充当が常態化していました。本社も「本来のあるべき姿ではない」と見解を示していました。

9月に1名、10月に2名の要員が配置されました。本社も要員の確保を本気でやれば出来ることが証明されました。

——— 6月の団体交渉の議事録 ———

- 【J S 労】 営業二科の基準要員を明らかにすること。現在要員不足である。早急に要員を確保すること。
- 【会 社】 会社が責任を持って操配しているので、基準要員は明らかにしない。
- 【J S 労】 求人募集に営業二科だけ除外している理由を明らかにすること。
- 【会 社】 介助業務は、旅客案内や車椅子等、鉄道に関する知識が一定程度必要であると考えている。まずは、遺失業務を習得した後に介助業務に従事させている。
- 【J S 労】 詭弁だ。現在のプロパー社員は直接介助業務から従事している。また、京都事業所もその様な運用になっていない。

まだまだ不十分だ！
J S 労は適切な要員確保を要求します！

[メールアドレス・jsrou@yahoo.ne.jp](mailto:jsrou@yahoo.ne.jp)

